

金賞

海や川の生きものを守ろう

安河内 稲造

粕屋町立仲原小学校

ぼくは、ソフトボールを習っています。江辻グラウンドでよく試合があります。試合があるたびに、

「となりの大きい工場は、なんの工場かな？やけに大きい工場だな。」

と聞いていました。6月に多々良川じよう化センターの方が仲原小に来て、お話を聞いて、初めてその工場が多々良川じよう化センターだと分かりました。

「ああ、あの工場って多々良川じよう化センターやったたい。なんであんなだけ大きいとかいな？」

と、心の中で思いました。話を聞いていくと、1日でプール百二十杯分の水をきれいにしているから大きいんだということが分かりました。

次に、すごいなあと思ったことは、び生物が水のよごれを、きれいにしてくれることです。ぼくは、機械できれいにしているんだろうと思っていました。話を聞いてみると、び生物の力で、水をきれいにしていることがわかりました。

「そのしくみを考えた人はすごいなあ。自然の力ってすごい!!」
と、思いました。でも、よごれがひどいとび生物も死んでしまします。自然の力にたよるだけではなく、1人1人が水をよごさないようにすることがたいせつじゃないかなと思いました。

もう一つぼくがびつくりしたことは、よごれた水をきれいにするには、たくさんの水で、うすめないといけないということです。たとえば、1ばいのみそしるを魚がすめるぐらいのきれいな水にするためには、おふる5はいもの水でうすめないといけません。そして、スプーン1ばいの油なら、おふる7はいもの水でうすめないといけません。

「えーっ、そんなにいっぱいの水でうすめないかんと!!」

「ぜんぜん魚すめんくなるやん。」

ぼくはとってもびつくりしました。実はぼくは、深海の魚や生き物が大きいです。しずおかの水族館につれていってもらったこともあります。だから、川や海の生き物達が元気で、くらしてくれたりいたいと思います。そのために、やっぱり一人一人が水をきれいにすることが、大切だと思います。

これからぼくが水をよごさないために、何をしたらいいか、お父さんと、お母さんと、話し合いました。1つ目は、食べのこしやのみのこしを、へらすことです。2つ目は、おふるの水をせんたくにつかうことです。あまった水は畑やしばふにまきます。3つ目は、おこめをとぐときに、出てきた水は、まくことです。4つ目は、しよつきをあらうときに、キッチンペーパーや、いらぬのでふいてからあらうことです。

これから、自分でできることを、こつこつと続けて、魚や生き物がくらせる、川や海を守っていききたいです。